

カエルとガマの 3月 P P P - part 2 対談

ガマ・・・四旬節ですね。アシジはいかがですか？

カエル・・・はい、ジョットの絵に新たな“発見”があって話題になっています。700年ぶりにジョットの絵の中に“あくま”の横顔が発見されたのです。

ガマ・・・“あくま”の横顔？

カエル・・・はい、上部聖堂28枚の絵の中の20枚目、「フランチェスコの死」にその横顔が描かれているのです。ジョットは遊び心のゆとりをもって、闇の正体をみごとに表現しています。

ガマ・・・それは、興味深いことですね。

カエル・・・その絵を観ながら、3Pを思いました。あくまもPPPを使うのです。

ガマ・・・あくまとは、わたしたちを神さまから遠ざけ離れさせる悪の力ですね。

カエル・・・PACEを装い闇の争いと憎しみを、PICCOLOを装い分裂と疑いを、PIANOを装い怠りと絶望を・・・

ガマ・・・アダムとエバには「決して死ぬことはない。それを食べると、目が開け、神のように善悪を知るものとなることを神はご存じなのだ。」(創世記3.5) やさしく、まことしやかに、巧妙ですね。

カエル・・・悪魔はイエスが空腹を覚えられるまで、ゆっくり待ちます。・・・PIANO、PIANO・・・そして、「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」

ガマ・・・PACE平和の君、神の子よ、と誘います。「神の子なら、飛び降りたらどうだ。神があなたのために天使たちに命じると、あなたの足が石に打ち当たることのないように、天使たちは手であなたを支える。」

カエル・・・「もし、ひれ伏してわたしを拝むなら、これをみんな与えよう」・・・あくまは、PICCOLOへと誘います。

ガマ・・・イエスはきっぱりと、まことのPICCOLOの生き方で答えられます。「退け、サタン。あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ。」(マタイ4.1-10)

カエル・・・高校時代、要理を学んでいたときに聞いたエピソードを思い出します。

あるとき、あくまの総会があって、小あくま、中あくまは自分たちの勝利の自慢を競い合っていました。ところが、あるひとりの人物だけはどんな誘惑をもってしても倒すことは出来ない・・・そこで、大親分が登場。ついに、その人物も敗北したそうです。子分たちが策略の伝授を請うと、大親分は「小さな失望を少しずつ、少しずつ・・・やさしく、おだやかに、ゆっくり・・・PACE、PICCOLO、PIANO、PIANO・・・そして、絶望に落とし、神から引き離す！」

ガマ・・・ジョットは、それを描きたかったのでしょうか。聖者フランチェスコの死、修道士たちに清貧を愛するよう、それぞれ神から与えられた役割を果たすように諭し、一人ひとりを祝福した後、修道士たちが詩編142を唱える中、静かに息を引き取ろうとする聖者の最後の最後まで、あくまはその望みを捨てず、彼の3P、PACE、PICCOLO、PIANOで神から引き離そうと挑み続ける悪の姿を・・・。

カエル・・・アダムとエワ・・・神の子イエスに・・・聖フランチェスコに・・・そして、わたしたち一人ひとりに挑む悪の力・・・しかし、イエスは言われます。「・・・これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって、平和を得るためである。あなたがたは世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。」と。

ガマ・・・アヴェマリア・・・わたしたち罪びとのために、今も死を迎える時も、お祈りください。

カエル・・・見よ、キリストの十字架、世の救い ともに崇めたたえよう。(聖金曜日の典礼より)
どうぞ、よい四旬節を。そして、主とともに復活しましょう！